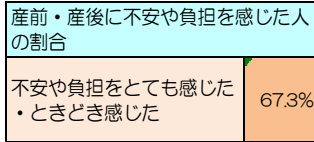




# 新市原市次世代育成支援行動計画(前期計画)(素案)の概要

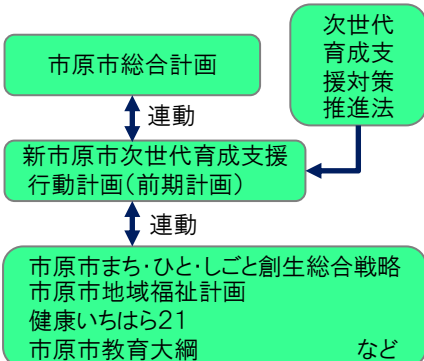
## 背景・課題

- ◎ 潜在的な保育ニーズが高く、保育所待機児童の解消は喫緊の課題  
→仕事と子育てが両立しやすい環境の整備が必要
- ◎ 世帯の小規模化等により、誰からも支援が受けられない世帯が存在  
→地域で支える子育て支援の充実への取り組みが必要
- ◎ 出産前後に不安や負担を抱える母親が高い割合  
→切れ目のない支援体制が必要



## 位置づけ

市原市総合計画条例第7条第1項に基づく個別計画として位置づけ



## 計画期間

2017年度～2019年度(3年間)

## 基本理念

地域社会全体で優しく子育て家庭を支え、子育ての喜びにより、子どもの笑顔や大人の笑顔が満ちあふれるまちの実現を目指し、以下のとおり設定します。

いちばらっこを優しく育む、  
みんなの笑顔が輝くまち

## 施策の効果を高める重点取り組み

### ①千葉市・四街道市との広域連携

千葉市、四街道市及び市原市は、広域連携として、子ども・子育て支援の連携の実現に向けた協議を進めています。管外保育の連携等複数事業で開始に至っており、引き続き連携の拡大に努めていきます。

### ②子育てネウボラ

出産前後の支援を手厚いものとするため、保健師による妊婦全数面接等の新規事業を施策パッケージとし、これまで市が取り組んできた事業につなげ、市の行う子育て支援策等による切れ目のない支援体制を確立します。

### ③大学との連携

帝京平成大学との連携協力に関する包括協定に基づき、ファミリー・サポート・センター事業等への学生の参画を検討し、地域における子育て支援に若い力の協力が得られるよう取り組んでいきます。

## 施策体系(基本目標と施策)

### 1 仕事と子育てが両立しやすい、女性が活躍できるまち

- (1) ワーク・ライフ・バランスの実現
- (2) 待機児童解消に向けた取組の推進
- (3) 多様なニーズに対する保育の充実
  - 主な新規・拡充事業
    - ・ 待機児童解消事業(保育施設等の充実)
    - ・ 民間保育所等共同整備事業
    - ・ 病児保育事業

### 2 誇りと愛着を育む地域総ぐるみの子育て支援ができるまち

- (1) 子育てを支える地域社会の形成
- (2) 地域における子育て支援の充実
- (3) 児童の健全育成
  - 主な新規・拡充事業
    - ・ 地域子育て支援拠点事業の設置
    - ・ 大学との連携事業

### 3 妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援等による安心して子どもを産み育てることのできるまち

- (1) 子育てネウボラによる切れ目のない支援
- (2) 親子の健康の確保及び増進
- (3) 育児・教育にかかる経済的負担の軽減
- (4) 子育てにやさしい生活環境の整備
  - 主な新規・拡充事業
    - ・ 保健師等による妊婦全数面接
    - ・ 出産前後家事等サポート事業

### 4 子どもたちが夢をもって学び、自分らしく成長できるまち

- (1) 質の高い幼児教育の提供
- (2) 確かな学力・豊かな心を育む教育環境の整備
- (3) 生涯学習機会の充実
  - 主な新規・拡充事業
    - ・ 市立幼稚園及び市立保育所再編成事業
    - ・ 連携カリキュラムの展開

### 5 すべての子どもが健やかに育つまち

- (1) ひとり親家庭等への支援の充実
- (2) 児童虐待防止対策の充実
- (3) 貧困の連鎖防止に向けた施策の充実
- (4) 障がい児支援の充実
  - 主な新規・拡充事業
    - ・ 生活困窮者自立支援事業(子どもの学習支援)

## 主な成果指標

- 普通出生率\*  
7.0(2015)→増加(2019)
  - 子育てが楽しいと感じる人の割合  
95.3%(2016)→増加(2019)
  - 自分には、よいところがあると思う児童(小学生)の割合  
74.7%(2016)→増加(2019)
  - 自分には、よいところがあると思う生徒(中学生)の割合  
66.5%(2016)→増加(2019)
- \*人口1,000人あたりにおける出生数